

2025年度(令和7年度)保育所における自己評価

松阪清泉愛育園（清泉愛育園グループ）

今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に活かせるような内容で評価します。

評価方法:

(1)全職員へのアンケート実施

(2)アンケート集計をもとに自己評価委員会にて議論及び評価の決定

評価について:

A(大変良い)、B(良い)、C(一部検討を要する)、D(改善を要する)の4段階で評価します。

項目ごとに、意見・改善策を記述します。

	内容	8月評価				意見・対策	3月評価				意見・対策
		A	B	C	D		A	B	C	D	
保育内容に関する評価											
1	保育所の職員らが、すべての子どもについて、一人一人の存在とその人権を尊重していますか？		○					○			一人ひとり意識づけはできるようになってきている。職員同士声をかけやすい環境づくりに心がける。
2	保育所の職員らが、子どもたちに身体的な苦痛を与えたり、人権をはずかめたりするなど、精神的苦痛を与えることがないようにしていますか？	○						○			
3	不適切保育(園内で行われる心身における虐待など)が行われないよう、適切な保育が実施できていますか？	○						○			
4	個人情報の保護に配慮し、園児やその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか？	○						○			
5	保育所保育指針を読み、参考にして指導計画を作成していますか？			○		カリキュラム＝保育指針が反映されているものだが、それを把握できていない。各クラスに配布しておく。各部屋にわかるように。いつでも計画立てやすいように工夫した方がよい。何を書いてあるのか説明しないと。本来は3月末などの会議で、説明した方がよい。みんなに知らせる。みてね～ではなく、こちらから説明することが大事。年度末に向けて要取り組み。			○		こども園への移行に伴いカリキュラムの見直しをした。カリキュラムを冊子化し各クラスに置くことで常時確認できるようにし指導計画の立案に活用できる体制を整える。
6	清泉愛育園の方針を理解し、各園の保育計画をもとに指導計画を作成していますか？		○			月案に常に落とし込んでおく			○		
7	各クラスにおいて、月・週・日案などには、子どもの意欲を誘うものにもできていますか？	○							○		季節の製作や戸外遊びなど活動が固定化しつつある。2クラス体制であるため両クラスで話し合いを行い連携を図りながら保育を進めていく。
8	実施した保育について(複数担任の場合は共同して)、職員自ら保育を評価・反省・次の指導計画にいかせていますか？	○							○		
特別な配慮及び健康管理											
9	園児たちの発育・発達状況を把握し、職員全体で情報共有することで、日常の保育にいかせていますか？	○							○		
10	食物アレルギーなどの子どもに対して、医師の指導のもと適切な対応をしていますか？	○							○		
11	日頃から問題の早期発見を心がけ、虐待や家庭内の問題が疑われる場合は、園長や主任、専門機関と連携をとりながら適切に対応していますか？	○							○		
12	特別な配慮がある園児に対して、園内で情報共有をし、専門機関と連携を取りながら対象園児への理解を深めるような取り組みをしていますか？	○							○		
13	園内の感染症対策、急な怪我などの対応を職員らが理解し、実践できていますか？	○				出血を伴う怪我などに対しては、手袋を着用できるように。ゴムのしっかりした手袋で対応すること。各保育室にあるように。			○		職員間で連携を取りながら、急な怪我にも適切に対応できている。また事故報告書を作成し共有を行っている。
清泉愛育園グループの保育											
14	清泉愛育園グループの保育理念・各園の保育目標を理解し、実現できるような保育計画を立てていますか？		○						○		
15	子どもたちの自己肯定感を育む保育をしていますか？(自己肯定感を育む工夫を保育計画に入れていますか？)		○						○		
16	園全体で「対話」を大切にして、人との対話を楽しむような保育や人の話を最後まで聞けるような指導をきちんと行っていますか？		○						○		

